

真理子先生の

女性の ミカタ

子宮頸がん ③

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとう・まこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



厚生労働省は4月、子宮頸がんの原因であるHPV(ヒトパピローマウイルス)への感染を予防するワクチンの定期接種について、9年ぶりに積極勧奨を再開しました！

定期接種の勧奨再開

定期接種は無料です。

現在、日本で認可されているHPVワクチンは3種類。HPVには多くの型がありますが、定期接種の対象は2つの型の感染を防ぐ2価と4つの型の感染を防ぐ4価で、これらでHPVの60%をカバーします。

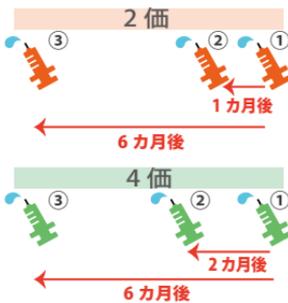
ワクチンは3種類

9つの型の感染を防ぐ9価ワクチンの予防効果は約90%ですが、接種する場合は自費負担になります。

筋肉注射を3回

ワクチン接種はいずれ

も肩に針を刺す筋肉注射で、決められた間隔で計3回行います。初回から2回目は2価なら1カ月間、4価なら2カ月の間隔を置き、3回目は初回から6カ月後が目安です。学校のスケジュールなども考慮して時期を決めましょう。



広域接種も選べます

山形県ではコロナワクチンと同様、お住まいの市町村以外でワクチンが

接種できる「広域接種」を取り入れています。ただしHPVワクチンの場合は事前の手続きが必要なものもあります。希望される方は、住民票のある各市町村の窓口にお問い合わせ下さい。通院中の他の市町村のクリニックなどでも接種できますので。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

医療事務さん 募集中

詳しくはお問合せ下さい。

